

第4回胎児心電図研究会学術講演会

2月13日(金) 15:00~16:30

B会場 [中会議室3・4]

15:00~15:10 会長挨拶 岡村 州博(東北公済病院 病院長)
理事長挨拶 八重樫伸生(東北大学産婦人科 教授)

座長: 木村 芳孝(東北大学大学院医学系研究科融合医工学分野 教授)

15:10~15:25 胎児心電図の現状と今後の展開について
佐藤 尚明
東北大学産婦人科 院内講師

15:25~15:35 Short term variabilityの胎動による変化
大塩 清佳
東北大学 産婦人科

15:35~15:45 Automated estimation of fetal cardiac timing events from Doppler ultrasound signal
F. Marzbanrad and A. H. Khandoker.
メルボルン大学

15:45~15:55 Feasibility of Non-invasive Fetal Electrocardiographic Monitoring in a Clinical Setting
Anita Krishnan
Departments of Cardiology, Children's National Medical Center, Washington, DC

座長: 田中 守(慶應義塾大学産婦人科 教授)

15:55~16:10 心電計としての課題
木村 芳孝
東北大学大学院医学系研究科 融合医工学分野 教授

座長: 佐藤 尚明(東北大学産婦人科 院内講師)

16:10~16:30 ①母体腹壁誘導胎児心電図による胎児不整脈診断症例
杉林 里佳
国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科

②腹壁誘導胎児心電図の心拍計としての精度
田中 守
慶應義塾大学 産婦人科 教授